事例No.	195
公表年度	H29
団体の属性	指定都市
団体名	兵庫県神戸市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・歳入確保 ・公共施設活用

事例種類	その他

事例内容・タイトル

こうべWエコ発電プロジェクト（収入増加（資産活用））

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

○ 事例名等

事例名	こうべWエコ発電プロジェクト
団体名	兵庫県 神戸市
事業名	公共・特環

○ 人口・面積・密度

規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	1,546,191	55,337	27.9
処理区域内(公共)	1,510,676	16,987	88.9
処理区域内(特環)	15,735	139	113.2

1. 背景

○取組みの背景・経緯

神戸市では「第5次神戸市基本計画」（平成23年2月）を策定し、持続可能なまちをつくるために太陽光やバイオガスなど再生可能なエネルギー・未利用のエネルギーを取り入れた低炭素都市を目指している。また、「神戸市地球温暖化防止実行計画」を策定し、平成32年までに「市事業の再生可能エネルギーを30%以上にする」ことを目標としている。こうべWエコ発電プロジェクトは、再生可能エネルギー固定価格買取制度及び下水処理場の施設上部空間と下水道固有の資源を活用した、太陽光発電とバイオガス発電を実施し、再生可能エネルギーの創出拡大及び普及展開に資することを目的として開始された。

2. 内容、効果額等

①施設の全体概要

【太陽光発電】水処理施設の上部空間約2haに太陽光パネル（縦約1m、横約1.7m）を約8,000枚設置（約2,000kW）

【バイオガス発電】小型発電装置を14台設置（計350kW）



【太陽光発電】



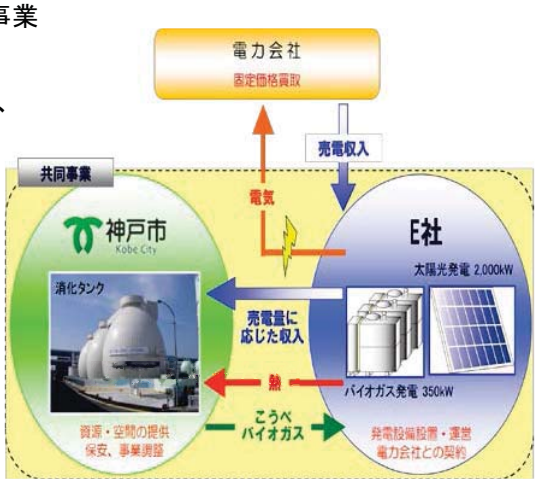
【バイオガス発電】

②事業契約内容等

ⅰ 事業内容　　メガソーラーとバイオガスの安定したダブル発電事業

ⅱ 事業方式

神戸市は発電設備の設置場所や「こうべバイオガス」などを提供し、民間企業は設備の設置や運営などを担う共同事業方式で実施。売電収入については、それぞれの役割分担に応じて配分される。



ⅲ 事業期間　　20年間

ⅳ 総事業費　　神戸市の負担なし

ⅴ 事業者名　　E株式会社

ⅵ 事業者選定にあたって留意した点等

本事業手法については、O株式会社が特許を取得しており、特許の使用を許諾されている子会社のE株式会社を選定した。

③効果額

年間売電収入約1億7千万円のうち2割程度が市の収入となる。

3．検討過程等

①スケジュール

平成23年2月	「第5次神戸市基本計画」策定
平成23年2月	「神戸市地球温暖化防止実行計画」策定
平成24年7月	「再生可能エネルギー固定価格買取制度」開始
平成24年12月	「こうべWエコ発電事業の共同運営等に関する基本協定書」締結
平成25年6月	「垂水処理場　こうべWエコ発電事業の実施に関する契約」締結
平成26年3月	発電開始

②住民・議会への説明

周辺住民と処理場職員との間で定期的に開催している委員会にて、
事業開始前には事業概要を、工事施行中には進捗状況を説明した。

4．今後の課題・考慮すべき点

自治体と事業者との役割分担・リスク分担の十分な調整が必要である。